



## 八国山緑地

● この緑地は所沢市で管理する緑地です。  
次のことを守って、楽しい一日をお過ごしください。

1. 植物の採取や樹木等の伐採はしないでください。
2. 緑地を傷つけたり、汚したりしないでください。
3. 焚き火やタバコのポイ捨てなど、山火事の原因になるような行為はしないでください。

所沢市役所

### 八国山に入る（上野、下野、常陸、安房、相模、駿河、信濃、甲斐の国を眺めることが出来る山との事）



#### 尾根路を歩き將軍塚に到着

**將軍塚**

狭山丘陵の東端に位置するこの山は、かつて駿河・甲斐・伊豆・相模・常陸・上野・下野・信濃の八か国の山々が望めたことから八国山と呼び伝えられ、鎌倉時代には、この付近を鎌倉街道上道が南北に通っていた。

元弘三年（一三三三）、鎌倉幕府を倒そうと上州で挙兵した新田義貞は同道を南下し、小手指ヶ原で幕府軍と対戦したが苦戦を強いられ、分倍河原（現東京都府中市）の合戦でようやく勝利するが、このとき義貞がこの地に一時逗留し、塚に旗を立てたことから將軍塚と呼ばれるようになったと伝えられる。江戸時代に編纂された『新編武蔵風土記稿』には「此二ツノ塚アリ、是ヲ將軍塚ト呼ブ」とある。同書には、この塚は富士塚とも呼び、あるいは古代の塚ではないかとも記されている。



#### 將軍塚よりの眺望



#### 新田義貞の鎌倉攻め 北条と足利の戦い



東京都指定旧跡

## 久米川古戦場

所在地 東村山市諏訪町二丁目付近  
指定 大正八年十月

北川と前川の合流するこの地域の低地と狭山丘陵東端の八国山の麓一帯を鎌倉時代には久米川宿といっていた。文永八年（一二七一年）の日蓮の普請に「武蔵國久米川に付き……」とあって、上野國（群馬県）と鎌倉を結ぶ政治的にも経済的にも重要な交通路であった鎌倉街道上のこの宿の主要な宿駅であった。

『太平記』によれば、元弘三年（一三三三）五月八日、群馬県新田町の生田神社（新田義貞普兵伝説地）から鎌倉幕府倒幕のため挙兵した新田義貞の軍勢は、十一日初戦の小手指ヶ原合戦（所沢市）で鎌倉軍を破り、翌十二日に南下した新田義貞と鎌倉幕府軍との第二戦が行われたのがこの周辺一帯であるといわれている。「江戸名所図会巻四」によると、久米川合戦に勝った新田義貞が塚を築き築るたてたといわれる將軍塚（所沢市）が八国山にある。標高約一九〇メートルの八国山は、駿河（富士）、伊豆（天城山）、相模（箱根大山）、甲斐（多波山）、信濃（浅間）、上野（吉塚）、下野（日光）、常陸（現茨城）の八か国の山が眺められるのでこの名がついたといわれている。

久米川宿を中心とする久米川一帯は、その後も建武二年（一三三三）の中先代の乱や応永二十三年（一四一六）と同二十四年（一四一七）の上杉禪秀の乱などたびたび合戦の戦場となったが、近年は宅地化が進み当時の景観は偲ぶべきもない。

国の重要文化財「元弘の板碑」は、八国山麓に立つたものを文化年間（一八〇四〜一八）に、臨濟宗福寿山徳蔵寺（東村山市諏訪町一―二六）に移したものである。

平成十年三月 建設

東京都教育委員会

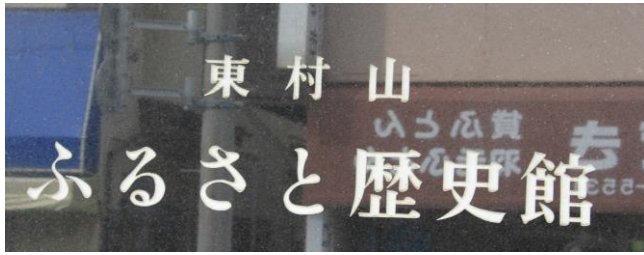


満開のバラに囲まれた幼稚園を発見(ローズガーデンパーティが開催されていた)



徳蔵寺に到着





村山大島機織機



故郷歴史館を出発



東村山駅前に西口到着



この後東大和市駅に向かい「CASA」経由「庄屋」で二次会を開催で盛り上がりました。



下宅部遺跡の出土品



清正公の碑



参加者名簿

大和中学同期会 第15回 34歩会合同クラス会 床や  
2015年5月16日(土) 10時東大和市駅 六国山  
参加名簿

氏名	組	会費	合同クラス会
1 大貫 勇	C	500	庄屋 X
2 諸江 ツツ子	G	0	X
3 星野 洋子	E	0	0
4 川 鍋 正義	B	0	X
5 伊 沢 克夫	C	0	0
6 矢 澤 勝彦	A	0	0
7 石 原 隆	B	0	0
8 伊 石 祐一	C	0	0
9 渡 藤 洋輔	F	0	0
10 木 村 順子	A	0	0
11 木 下 博史	G	0	X
12 尾 崎 都子	G	0	X
13 町 田 昇	C	0	0
14			

## 八国山の將軍塚

水道道路から狭山公園を経て八国山の將軍塚へ

東大和市駅から野火止用水を東に向かって進み、玉川上水から東村山浄水場への送水管の上に造られた水道道路を北に向って歩きます。やがて新青梅街道を横切り、空堀川に沿って東村山浄水場の脇に出ます。そこから多摩湖からの狭山境緑道を歩き武蔵大和駅に行き、狭山公園に入り、狭山公園パークセンター(管理事務所)で一休み。ここまでの予定時間から大幅に遅れるようなら、ここで昼食ですが、もう少し頑張りましょう！多摩湖の余水を流す「12段」からの「北川」に沿って東に進み、「下宅部遺跡はっけんのもり」に出ます。ここは1995年に、都営アパートの建て替え工事の際に発見された遺跡で、縄文時代から鎌倉時代までの遺構が見つかった場所だ。少し進むと「八国山たいけんの里」があり、八国山周辺の動植物や遺跡などが展示されている。ここから西武線と北山小学校の間の道を抜けると「北山公園」に出る。ここで昼食としましょう！ここには6月になると花菖蒲やアジサイが咲くが…

「北山公園」からは再び「たいけんの里」まで戻り、西武線を横切り八国山に入ります。歩きやすい道を少し登り、尾根道を「將軍塚」まで歩きます。この八国山は、山頂から相模、駿河、下野など八国が見えるということだそうです。「將軍塚」から東に下ったところには鎌倉街道があり、新田義貞が小手指での戦いの後に南下し、この地で戦った「久米川古戦場」の記念碑がある。古戦場から更に進むと「徳蔵寺」があり、ここには板碑が沢山集められており、「板碑博物館」が出来ている。「徳蔵寺」から南に進み「ふるさと歴史館」に寄ろう。この歴史館には東村山の歴史や民族を展示しているのでお勉強しよう！ここからゴールの東村山駅はもうすぐだ！

東村山駅からは、小川駅を経由して東大和市駅に戻りましょう。

そして、今日の反省会とクラス会をやり、多いに盛り上がりましょう！（歩行距離；11～12km）

1. 開催日；平成27年5月16日(土) 10時集合
2. 集合場所；東大和市駅
3. 歩行コース；(ト)はトイレ

東大和市駅(ト)→水道道路→浄水場→武蔵大和駅(ト)→狭山公園(ト)→たいけんの里(ト)→  
10:00 10:40 11:00 11:20 11:30 12:00

→北山公園(ト)(昼食)→八国山→將軍塚→ふるさと歴史館(ト)→東村山駅→東大和市駅→(クラス会)  
12:15 13:00 13:30 14:30 15:00 15:30 16:00

4. 注意事項；
  - ① 小雨決行です。
  - ② 昼食は、武蔵大和駅などで購入が可能ですが、前もってご用意しておくことをお勧めします。
  - ③ トイレは、東大和市駅から狭山公園までの間にはあまりありません。

## 八国山の將軍塚

今年の5月は30℃前後の暑い晴天の日が続いていたが、昨晚から雨が降り、今朝も弱い雨が降っている。9時過ぎに小雨の中を集合場所の東大和市駅に向かう。9時半過ぎに駅近くで、伊澤さんと矢沢さん両氏と合流。「今日は小雨だから参加者は少ないかな」と話しながら駅に向かう。

9:40 東大和市駅に行くと、横浜から大貫さんがもう来ている。間もなく次々と懐かしい仲間が集結し、再会を喜び話が弾む。その一方で、我々同級生の訃報も伝えられる。今日、こうして元気に再会し、ウォーキングに参加して歩ける幸せを改めて噛み締める。

今日のウォーキングには参加できないが、と郡さんも来てくれた。14名ほどの仲間が集まり、今日のコースの説明と、次回の予定を話す。10:00

今日のコースの前半は用水路に沿った路だ。まず、かつては野火止用水が流れていたところに玉川上水から東村山浄水場への用水路が埋まっている遊歩道を東村山浄水場まで歩き、その先は多摩湖からの用水路の上に造られた遊歩道を多摩湖まで歩き、更に多摩湖から八国山へと歩く。

皆さんの心がけが良いからでしょうか、集合時間になると雨がやみ、暑くも無くウォーキングには絶好の陽気になった。

集合写真を撮った後、東大和市駅から西武線のガードを潜り、野火止用水に沿って東に進む。

遊歩道の脇の畑にはトマトやキュウリなどの夏野菜がすくすくと伸びており、ジャガイモの白い花も咲いている。遊歩道を進んでゆくと、清流が流れており、蛍の養殖も行われている。間もなく、蛍の飛び交う姿が見られることだろう。

やがて野火止用水の遊歩道から別れ、東村山浄水場への送水路の上に造られた真っ直ぐな遊歩道に入る。ここにも植え木が植えられ、草花も咲いており気持ちの良い遊歩道だ。近くにこんな遊歩道があるなんて、普段、車で車道を行き来していると気付かない！ 遊歩道のあちこちには芸術的なモニュメントが設置されており、各々「あぼへぼ」「狭山丘陵の古狸」などの名前が付いており、説明文も付いている。このようなモニュメントは東大和には27個ほどあるので、後日これらのモニュメントを訪ね歩くのも良いだろう。

頭上を見ると、遊歩道に沿って高圧線が走っている。「これはどこからの送電だろう？」と仲間たちと議論しながら歩いていると、やがて答が見つかった。高圧線の鉄塔に「只見線」とある。福島県の奥只見からの送電線のようなだ。我々の頭上を東西南北に走っている高圧線のルーツや送電ルートを調べてみるのも興味深い。

「東京街道」を横断してしばらく行くと、紅白のバラが沢山咲いている家がある。素晴らしいバラなので、この満開のバラの前で女性達の写真を撮る。さらに全員の写真も撮る。10:50

更に進むと、車が沢山行き交う新青梅街道に出る。歩道の信号が青に変わるのが長いので歩道橋に登る。新青梅街道の歩道橋に登るのは初めてかもしれない！ 車が猛スピードで走る 4 車線の車道が見渡せ、その脇には静かに空堀川が流れており、「静動」の対比が素晴らしい眺めだ。

歩道橋から降りて空堀川の遊歩道に入ると、ボランティアの方々が丹精をこめて作っている花壇が連なり、マーガレットや黄花マーガレット、紫ランなどが花盛りで、アジサイの蕾も大きくなっている。ピンク色のタチアオイも咲き始めている。遊歩道から空堀川の川原に降り、西武線の下を潜って、階段を登り「多摩湖自転車道」に出て、ここで休憩。11:00

再び多摩湖自転車道を多摩湖に向かい、右に東村山浄水場を見ながら、大きな桜の並木の下を西武線に沿って進む。遊歩道には歩いている人、ランニングをしている人、自転車の人などが次々と行き交う。時折、西武線がすぐ脇を通過する。

しばらく進むと遊歩道の右側にKさんの実家があり、伊澤さんが奥様としはし立ち話をする。

武蔵大和駅に近づいた頃、大きな犬を連れている人がいるので、犬を囲むように寄り集まろうとした瞬間、尾崎さんがひっくり返って倒れた。前方からランニングをしてきた高齢の人が、スピードを落とさずに走ってきて、尾崎さんの肩にタックルしたのだ。尾崎さんは肩と足を痛めたが大事にはならずに一安心。衝突したランナーは、謝りながらも「路に広がっていたからだ」と我々を非難していたが、スピードを緩めるとか、路の端に避けるとか、声をかけるとかすべきではないかと思う。我々を含め、年をとってくると自分中心になってくるので、我々も遊歩道の左側通行のマナーを守って行こう。

武蔵大和駅の手前で、近くに住む町田君が合流。町田君は数年前に大病をしたが、全快し、最近はかなり歩けるようになったとのこと。今回も我々と一緒に完歩しよう！ 武蔵大和駅に着くと、同級生の小島一男君が待っていて、11月にハミングホールで予定している「オーロラとダンスの夕べ」を紹介。11月までは蔵敷の実家でもオーロラの映像は無料で見られるとのこと。ご興味のある方はどうぞ・・・11:30

武蔵大和駅からは都立狭山公園に入る。階段を登り、雨上がりの鬱蒼とした森の中を歩くと、鳥の声も高らかに聞こえる。やがて「太陽の広場」に出ると、しっとり濡れた緑のジュータンが広がっており、気持ちが良い素晴らしい。

「たっちゃん池」の端に出ると、池の面にペットボトルが沢山浮いている。「な

んだろう？」町田君が説明してくれた。あれは外来魚対策で、あの中に卵を産ませて捕獲、駆除するのだと。

そこから、新しくなった多摩湖の堤防を左に見上げながら進むと、すぐに狭山公園事務所に到着。

もう12時でお腹も空いてきて、早くお昼にしたいところだが、菖蒲園までもう少し頑張ろう！

ここからは多摩湖からの放水路でもある北川(下流は柳瀬川)に沿って歩く。川の中を覗くと、大きな鯉が沢山泳いでおり、錦鯉も沢山いる。民家と川の間の幅1m程の狭い歩道を歩く。その住民の方達とお話をしたりして、なかなか歩が進まない。そんな路地みたいなところを抜けると、「下宅部遺跡」に到着。

12:20

この「下宅部遺跡」は、近くの団地の造成中に発見された遺跡で、縄文時代から平安時代まで人々の暮らしが営まれていた遺跡で、公園になっている。

「下宅部遺跡」の中を抜けて、少し先の小学校を回り込み橋を渡ると、突然目の前が広がり、「北山公園」に出る。菖蒲園が広がっており、まだ5月半ばだが菖蒲の花はぽつぽつ咲いている。菖蒲畑の中を歩き休憩所に入る。広い屋根の下、座るところも沢山あり、トイレもすぐ隣だ。12:35

菖蒲畑を見ながら待ちに待ったお弁当を開く。もう12時半なのでお腹はペコペコだ。目の前の菖蒲田にはカモが2羽動き回っている。懐かしいカエルの合唱も聞こえる。トノサマガエルに似た「東京ダルマガエル」らしい。少し離れた所からは太く大きな牛ガエルの鳴声も聞こえる。

漬物などのお裾分けも回ってきて、お弁当を美味しくいただく。

今日参加してなかった常連のNさんから、諸江さんの携帯に連絡が入り、どうやら日にちを間違えてしまったらしい。次回は是非一緒したいものだ。

美味しいお弁当をいただき、水分補給をして満腹になったところで再出発！  
13:10 早咲きの菖蒲がポツポツ咲いている所で集合写真を撮り、広い北山公園の菖蒲園の中を散策。小学校と西武線の間を進み、「たいけんの里」のところから踏切を渡り、いよいよ八国山に入る。13:25 「今年になってウグイスの声を聞かないね」などと話していると、突然、森の中から綺麗なウグイスの鳴き声が高らかに聞こえてきた。おまけに「谷わたり」の鳴声までも長く聞かせてくれる。

八国山の鬱蒼とした緑に囲まれた森は、まるで深い山の中に入ってきたようで、今にも「トトロの猫バス」が出てきそう。ウグイスをはじめいろいろな小鳥の鳴き声が高らかに聞こえる。雨上がりのしっとりとした山道を登ると、尾根路に出る。尾根路は広くて歩き易く、足に伝わる土の弾力が何とも心地良い。

歩きながら「ここはどうして八国山と言うの？」という話が出たが、その答えはすぐに出た。快適に歩いて「将軍塚」に到着。その案内板に「上野、下野、常陸、安房、相模、駿河、信濃、甲斐の八カ国の山が見えるので八国山という。」とのこと。13:50-13:55

この「将軍塚」はその昔、新田義貞が鎌倉攻めの際、旗を立てたところだ。

ここで木下さんから、多摩湖や狭山湖の建設に伴い、そこに住んでいた人達の移転の説明があった。勝楽寺移転、石川移転・・・宅部移転など。木下さんの家もそうだったと・・・(この詳細は郷土史研究家の安島さんに聞くと良い)

「将軍塚」は八国山の東端にあり、ここからはクマザサの中を下る。左手には所沢のビル群が間近に見渡せる。下り終えたところには「久米川古戦場跡」の碑がある。ここは新田義貞の鎌倉攻めや北条と足利の戦いなどがあったところだ。14:00

そこから少し進むと、周囲を満開のバラの花で囲まれた幼稚園があり、父母もたくさん集まり、音楽が流れ、園庭でにぎやかにパーティをやっている。「ローズガーデンパーティ」だ。この幼稚園の隣には大きな寺「徳蔵寺」があるので、境内に入ってみる。寺の入口には「板碑保存館」の大きな建物があり、境内には仏像が何体も安置されている。14:15

「徳蔵寺」からは家の間の曲がりくねった狭い路を進み、西武線の踏切を渡って「東村山ふるさと歴史館」に入る。14:25「歴史館」は大きく立派な建物で、中に入ると正面に懐かしい五月人形が飾られている。その脇には村山大島などの機織機が置いてあり、室内の教室では何人かの人々が機織の体験をしている。郷土館の奥の方には、先ほど立ち寄った「下宅部遺跡」の出土品などが展示されており、大きな木舟や各種の工具や器なども展示されている。奥の展示室には東村山の各地の古代の状況や、出土品などが展示されており、今更ながら良い勉強ができた。その隣の常設展示室には、中世から近代の様子や生活用品などが展示されており懐かしい。里山の落葉を運ぶために使った直径・高さともに1m程の大きな竹籠が置いてあり、落葉をぎゅうぎゅうに詰めた状態になっている。約60kgもあり、持ち上げてみると3人でやっと持ち上がる。当時の人はこれを一人で背中に背負って山の中を運んだのだからすごい！ 今日一日歩いて疲れたのでロビーの椅子に座ってお話をしながらお菓子を食べると、職員に飲食禁止だからと注意されてしまった。ごめんなさい。(15:00 出発)

「歴史館」からは団地の中を通り抜け、前川の清流に沿って歩き、民家の間を通り抜けて進む。途中に「清正公」の祠があったが、どのような経緯、いわれがあるのだろうか興味深い。

やがてゴールの東村山駅西口に到着。全員元気に完歩で、ここで解散。3:20



(約 22,000 歩)

ここからは西武線で東大和市駅に行く。二次会の「庄屋」に入るには時間が早く、また一日中歩いて喉が渴いたのでBIGBOXの「CASA」に 8 名が入ってお茶タイム。15:40-16:05

その後「庄屋」で大いに盛り上がった。

今回は 10 月 24 日(土)に「東大和の農を訪ねて」だ。野菜の直売所や「さすじい農園」などを巡り歩き、新鮮な野菜がゲットできるかも・・・